

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	コミュニティサイクル事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	建設	局	自転車まちづくり	部	自転車企画推進
			課	評価責任者(課長名)	松谷

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	人と環境に優しい交通体系の構築など低炭素型都市構造への変革	有
	2	事業開始年度	平成 21 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市コミュニティサイクル利用実施要綱			
	4	関連計画	第2次堺市環境モデル都市行動計画 堺市自転車利用環境計画			
5	事業実施の経緯	本市は、平成21年1月に国から「環境モデル都市」の選定を受け、低炭素都市『クールシティ・堺』の実現をめざしている。本事業は、過度な自動車利用から自転車や公共交通機関利用への転換を図り、都市構造の変革を進める「モビリティ・イノベーション」の一端を担う低炭素型の交通システムとして整備を進めている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民や来訪者(通勤通学利用者、観光客、ビジネス利用者等)		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	本市の地場産業でもある自転車を活かした交通システムを運用することにより、自動車利用中心から自転車や公共交通機関の利用を中心とした都市構造への変革(モビリティ・イノベーション)を進め、快適な暮らしとまちの賑わいが持続する低炭素都市「クールシティ・堺」の実現に寄与すること。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	駅前等の複数のサイクルポート(専用駐輪場)に共用自転車を配置し、どこかのサイクルポートでも貸出返却ができるコミュニティサイクルを運営することで、自転車の利用しやすい環境を整える。		
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
		ミディ総合管理株式会社、公益財団法人 自転車駐車場整備センター、株式会社IHIエスキューブ			

Ⅲ. 投入量

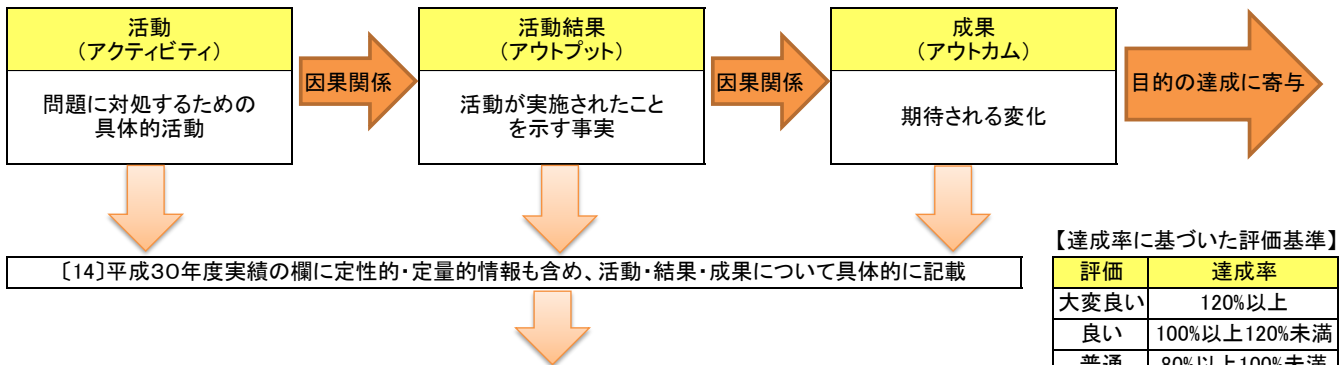
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算		
11 事業費 (a)	千円	77,530	72,708	70,920	83,341		
主な事業費内訳	コミュニティサイクル整備工事費	千円	0	0	0	8,330	
	コミュニティサイクル運営委託費	千円	68,744	64,615	64,484	67,363	
	その他(自転車購入費、設計委託費等)	千円	8,786	8,092	6,436	7,648	
		千円					
	財源内訳	国・府支出金	千円	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	0	0	0	0
市債		千円	0	0	0	0	
その他(コミュニティサイクル貸付収入)		千円	26,248	27,110	28,168	28,162	
一般財源	千円	51,282	45,598	42,752	55,179		
12 人件費 (b)	千円	7,380	7,380	7,380	7,290		
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	84,910	80,088	78,300	90,631		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	コミュニティサイクル事業	シート番号	19-90
-------	--------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>サイクルポート(専用駐輪場)8か所、共用自転車770台で運営を行った。 今年度は、SNSを活用し、さかいコミュニティサイクルの情報発信や市内で行われるイベント情報と一緒にコミュニティサイクルの利用促進の啓発を行った結果、利用率(契約率)は104%、CO2排出量削減では、121.5tであった。この活動の結果、自転車の優位性や利便性の周知につながった。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		コミュニティサイクルの利用率(契約率)	%	目標値	115	115	115	115
				実績値	107	103	104	
				達成率	93%	90%	90%	
	評価			普通	普通	普通		
	算出方法・設定根拠など		・利用率(契約率)算定方法…1日あたり契約台数/自転車台数 ・目標値…堺市マスタープラン後期実施計画における達成目標値					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		コミュニティサイクルCO2排出量削減	t	目標値	147.4	147.4	147.4	147.4
				実績値	118.5	102.9	121.5	
				達成率	80%	70%	82%	
	評価			普通	少し悪い	普通		
	算出方法・設定根拠など		・実績値…標準的なモデルケースに利用者アンケートや出庫台数実績を当てはめて算出 ・目標値…H21環境省国庫補助金交付申請書類記載のCO2排出量削減目標値					

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>指標に掲げる契約率では、目標値より11ポイント下回り、CO2排出量削減では、25.9t下回っている。 契約率については、一部のサイクルポートにおいて昼間利用と夜間利用の貸出バランスが悪い状況から新規申請の利用希望者(定期)の申請制限を行ったことが下回った要因の1つである。 CO2排出量削減については、平成29年度より18.6t多く削減できている。SNS等を活用した周知からコミュニティサイクルの利便性が伝わり、認知されてきた結果である。</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。